

令和3年度 長野市地球温暖化対策地域推進計画の進捗状況

(1) 地域推進計画の方針、施策等

<p>方針1 再生可能エネルギーの有効活用</p>	<p>施策 1-1 太陽光発電システムの導入、普及促進</p> <p>施策 1-2 小水力発電の導入、普及促進</p> <p>施策 1-3 木質バイオマスエネルギーの利活用推進</p> <p>施策 1-4 木質以外のバイオマス利活用推進</p> <p>施策 1-5 太陽熱利用システムの導入、普及促進</p> <p>施策 1-6 その他の再生可能エネルギーの導入、普及検討</p> <p>施策 1-7 多様なエネルギーの組み合わせ利用の検討</p> <p>施策 1-8 分散型エネルギーの導入とエネルギーの地産地消の促進</p> <p>施策 1-9 電力における再生可能エネルギーの普及促進</p>	<p>9 施策 12 事業 20 指標</p>
<p>方針2 省エネルギーの推進</p>	<p>施策 2-1 既存建築物（住宅・ビル等）の省エネ改修の促進</p> <p>施策 2-2 新築建築物の省エネ化の推進</p> <p>施策 2-3 省エネ機器・設備の導入、普及促進</p> <p>施策 2-4 運用管理の省エネ促進 (HEMS、BEMSの普及、計測器等の普及)</p> <p>施策 2-5 地産地消・旬産旬消の推進</p> <p>施策 2-6 次世代自動車の普及促進</p> <p>施策 2-7 環境負荷の少ない公共交通の構築</p> <p>施策 2-8 燃料電池とコージェネレーションの普及促進</p>	<p>8 施策 11 事業 19 指標</p>
<p>方針3 歩きやすい・暮らしやすい環境の整備</p>	<p>施策 3-1 パーク＆ライドの推進</p> <p>施策 3-2 自転車利用の促進</p> <p>施策 3-3 通勤手段の改善</p> <p>施策 3-4 利用しやすい公共交通システムの導入</p> <p>施策 3-5 歩きやすい環境づくり</p> <p>施策 3-6 機能集約型のまちづくり推進</p>	<p>6 施策 10 事業 13 指標</p>
<p>方針4 緑化の推進と熱環境の改善</p>	<p>施策 4-1 吸収源対策*としての森林整備の推進</p> <p>施策 4-2 市民参加の森林づくり推進</p> <p>施策 4-3 林産物の利用拡大促進</p> <p>施策 4-4 都市部を中心とした緑化とヒートアイランド*対策</p>	<p>4 施策 9 事業 12 指標</p>
<p>方針5 低炭素行動の促進</p>	<p>施策 5-1 家庭における低炭素行動の促進</p> <p>施策 5-2 事業所における低炭素行動の促進</p> <p>施策 5-3 地域や学校における低炭素行動の促進</p>	<p>3 施策 10 事業 22 指標</p>
<p>方針6 温暖化の影響に対する適応</p>	<p>施策 6-1 適応策の体系化に向けた情報収集と分析</p> <p>施策 6-2 健康対策の推進</p> <p>施策 6-3 防災対策の推進</p>	<p>3 施策 5 事業 10 指標</p>

(2)進捗評価方法について

・数値目標が設定されている施策は、目標に対する進捗率を用いて評価をする。

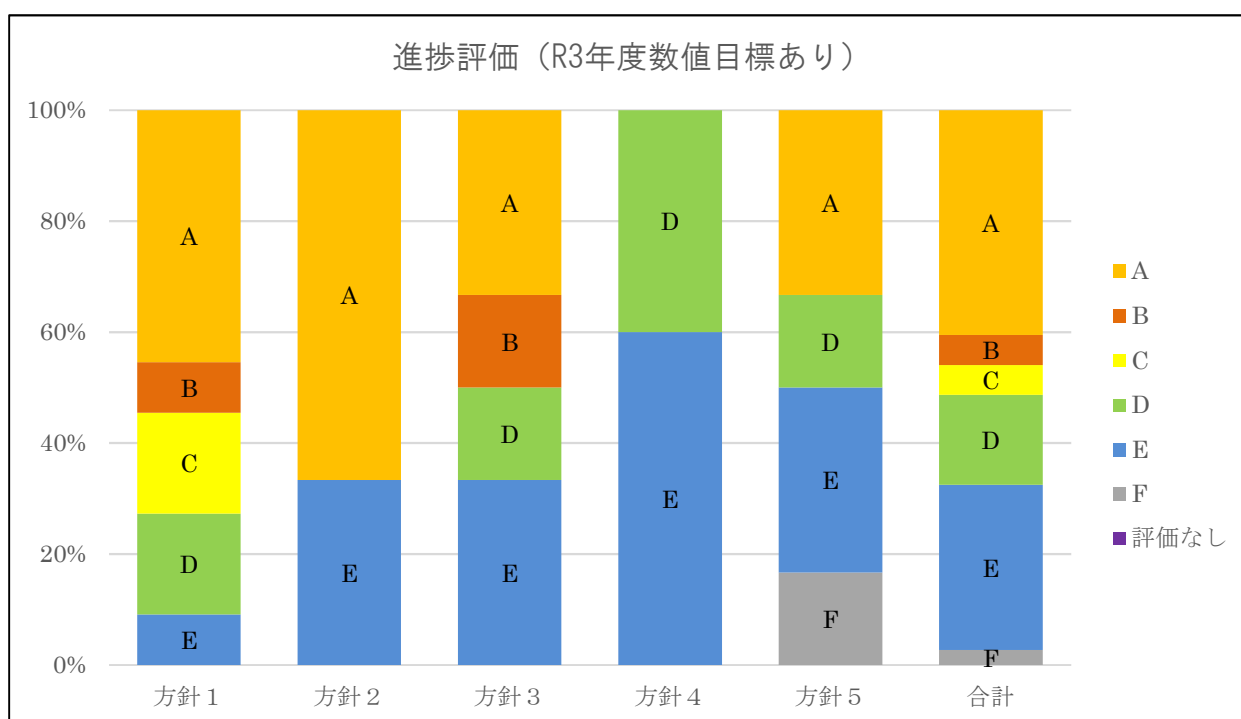
(A～Fまでの6段階評価)

・数値目標がないものは、施策の実施状況により評価をする。

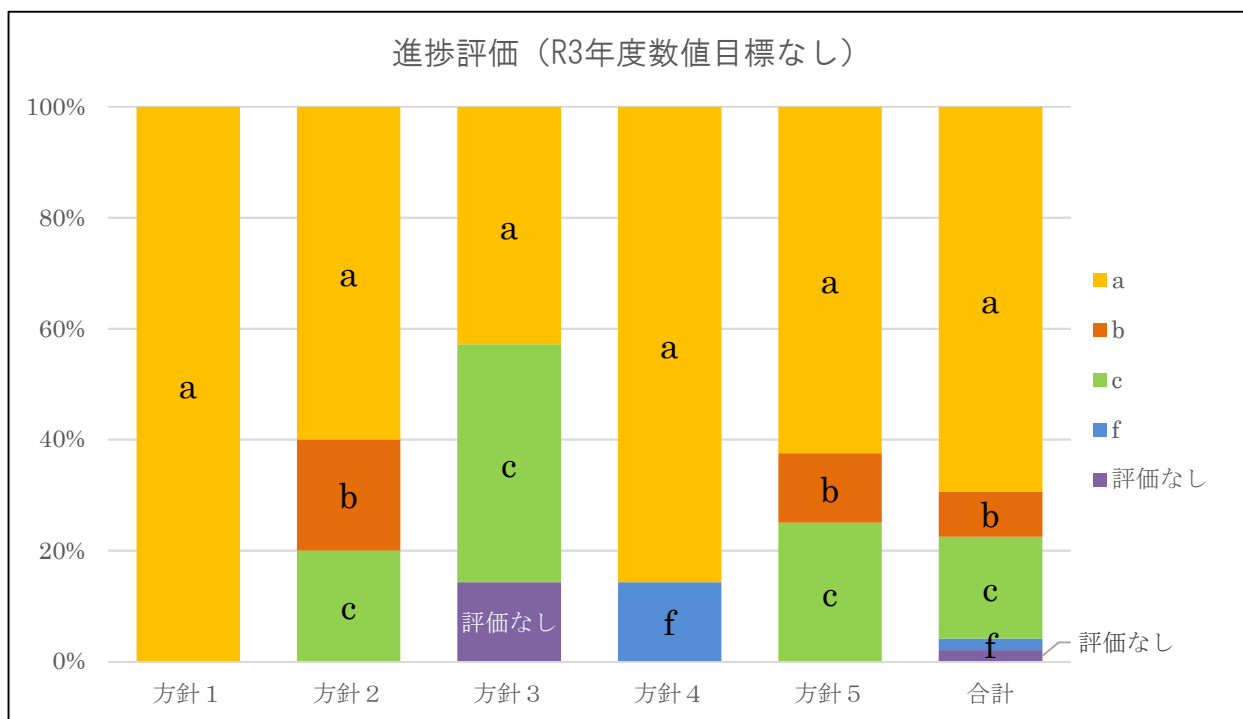
(a～fまでの4段階評価)

目標の達成状況			
数値目標あり	評価値	数値目標なし	評価値
95% ≤ 実績	A	施策を実施している。	a
75% ≤ 実績 < 95%	B		
50% ≤ 実績 < 75%	C	施策をほぼ実施している。	b
25% ≤ 実績 < 50%	D		
0% ≤ 実績 < 25%	E	施策をあまり実施していない。	c
未実施	F	未実施	f

(3) 方針ごとの目標達成状況



	方針1	方針2	方針3	方針4	方針5	合計	割合(%)
A	5	6	2	0	2	15	41%
B	1	0	1	0	0	2	5%
C	2	0	0	0	0	2	5%
D	2	0	1	2	1	6	16%
E	1	3	2	3	2	11	30%
F	0	0	0	0	1	1	3%
評価なし	0	0	0	0	0	0	0%
合計	11	9	6	5	6	37	100%



	方針1	方針2	方針3	方針4	方針5	合計	割合(%)
a	9	6	3	6	10	34	69%
b	0	2	0	0	2	4	8%
c	0	2	3	0	4	9	18%
f	0	0	0	1	0	1	2%
評価なし	0	0	1	0	0	1	2%
合計	9	10	7	7	16	49	100%

（４）方針ごとの温室効果ガス削減期待量

方針名	2021 (R3) 年度 温室効果ガス削減量	2021 (R3) 年度温室 効果ガス削減期待量
方針1 再生可能エネルギーの有効活用	45,455t-CO ₂	43,191t-CO ₂
方針2 省エネルギーの推進	20,610t-CO ₂	12,660t-CO ₂
方針3 歩きやすい・暮らしやすい環境の整備	—	—
方針4 緑化の推進と熱環境の改善	—	—
方針5 環境教育・環境学習の推進	3,582t-CO ₂	3,729t-CO ₂
削減期待量計	69,647t-CO ₂	59,580t-CO ₂

※削減量の算出ができたもののみ

(5) まとめ

方針1 再生可能エネルギーの有効活用

太陽光発電については普及が進んできましたが、木質バイオマスエネルギー利用の需要拡大など、地域の特性を生かした再生可能エネルギーの普及について、更に進めていく必要があります。

方針2 省エネルギーの推進

家庭等への省エネ機器の導入支援や、エネルギーの見える化などで一部課題が残る部分がありますが、市域の温室効果ガス排出量の多くを占める、業務部門・家庭部門における省エネルギーについて、更に促進していく必要があります。

方針3 歩きやすい・暮らしやすい環境の整備

交通政策に関する事業等について、継続的に実施しましたが、新型コロナウイルス感染症により、公共交通機関の利用者数などに影響が出ました。今後も継続して、公共交通や自転車の利用を推進していく必要があります。

方針4 緑化の推進と熱環境の改善

森林の整備事業等について、継続的に実施しましたが、新型コロナウイルス感染症により、間伐面積や森林体験の参加者数などに影響が出ました。森林整備については、温室効果ガスの吸収源としての機能を拡大するため、自然環境の保全や地域資源の活用による産業振興など、他分野の課題と併せて進めていく必要があります。

方針5 低炭素行動の促進

出前講座や環境教育の実施回数など、市民啓発に係る指標について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、市民の環境意識は高く、今後においても、環境教育・環境学習を推進し、市民の具体的な行動につながる施策を実施していく必要があります。

全体を通して、計画期間の後半は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、再生可能エネルギーの普及、省エネルギーの推進などの取組により、期待量を上回る温室効果ガス排出量の削減となりました。2050 ゼロカーボンの実現に向け、これまでの取組課題を踏まえ、第三次長野市環境基本計画に基づく各施策を展開し、より効果的な取組を実施してまいります。

【参考】各年度における削減目標の達成状況

